

一般研究発表プログラム

口頭発表セッション: 9:00－12:15 (9:00－9:05 開会挨拶, 10:35－10:45 休憩)

座長: 大谷侑也(摂南大), 有江賢志朗(JAXA), 苅谷愛彦(専修大), 佐々木夏来(明治大)

1 鈴 10分, 2 鈴 12分 (発表終了), 終鈴15分		★: 若手優秀発表賞 審査対象, ☆: 学生優秀発表賞 審査対象	
No.	著者名(所属)	タイトル	
O-01	岡本遼太郎*(国立環境研究所), 小熊宏之(国立環境研究所, 信州大), 下野綾子(東邦大)	山岳域でのネイチャーポジティブ実現を目指した画像・音響観測手法の開発	★
O-02	中野瑠衣*(常葉大・学), 今野明咲香(常葉大), 西城潔(宮城教育大)	船形連峰泉ヶ岳における植物珪酸体分析から推定される過去の山野利用	☆
O-03	鈴木啓久*(岐阜県立飛騨高山高校), 野崎隆夫(神奈川県二宮町)	細流の美麗種キマダラシマトビケラの生物地理学的研究: 隔離と交雑がもたらす遺伝的多様性	★
O-04	小野誠仁*(京都大), 坂井亜規子(名古屋大), 大久保結実(名古屋大), KHALZAN Purevdagva(モンゴル気象水文局), 木庭啓介(京都大)	ポターニン氷河(モンゴル・アルタイ)における窒素栄養の標高分布とその起源	★
O-05	水野向陽(新潟大院, RESTEC), 奈良間千之*(新潟大), 奥山駿(新潟大院, 日本工営)	中央アジア, 天山山脈の氷河モレーンコンプレックスの形成環境	
O-06	三品陽香*(総研大), 福井幸太郎(立山カルデラ砂防博物館), 菅沼悠介(極地研, 総研大), 奥野淳一(極地研, 総研大), 石輪健樹(極地研, 総研大), 田中靖(駒澤大)	ロッシュムトネと氷河擦痕から解明する最終氷期における室堂山周辺の氷河変動史	☆
休憩			
O-07	門田耀大*(東京都市大), 佐藤剛(東京都市大), 山口朱莉(東京都市大・院), 小森次郎(帝京平成大)	1923年関東地震を誘因として丹沢山地北部で発生した斜面崩壊発生プロセス―馬石地区・地震峠の事例―	☆
O-08	松下弥紗歌*(東京都市大・学), 佐藤剛(東京都市大), 山口朱莉(東京都市大・院)	アイトラッキングを活用した地すべり地形判読のための動画教材の開発	☆
O-09	山口朱莉*(東京都市大・院)	ベトナム中部ダナン南西部における表層崩壊の運動形態の類型化	☆
O-10	國友孝洋*(御嶽山科学研究所)	御嶽山二ノ池の消失過程	
O-11	苅谷愛彦(専修大), 鶴見英成(放送大), 大谷博則(Otani Hironori E.I.R.L.), 縫村崇行(専修大), カルロス=モレラス(ペルー文化省)	ペルー北部のボルボリン遺跡における石垣状構造物の発見と意義―古代アンデスにおける土石流・落石導流堤の可能性	
O-12	島津弘*(立正大)	プラタモリからみた上高地の絶景がうまれたわけ―その取材, 十分でしたか?―	
ポスター発表セッション: 13:00－14:20			
P-01	有江賢志朗*(JAXA), 田殿武雄(JAXA)	L-band SARデータを用いたフィルンラインの長期観測	★
P-02	國友孝洋*(御嶽山科学研究所)	御嶽山二ノ池火口内外で発生した雪崩・雪泥流	
P-03	溝江紫月(信州大), 西村基志*(信州大), 佐々木明彦(国士舘大), 鈴木啓助(信州大)	乗鞍岳斜面における気温遞減率の変動とその要因	
P-04	片岡遼将(東邦大), 狩野良輔(東邦大), 下野綾子*(東邦大)	浅間山におけるニホンジカの植生影響	
P-05	深澤青航(信州大), 西村基志*(信州大), 鈴木啓助(信州大)	中部山岳地域における降水量の空間分布	
P-06	阿部稜平*(千葉大), 竹内望(千葉大)	苗場山山頂に現れる赤雪の空間分布の観測	☆
P-07	佐々木明彦*(国士舘大), 西村基志(信州大), 鈴木啓助(信州大)	乗鞍・富士見岳の砂礫斜面に分布するしっぽ状植生における地温の観測	
P-08	熊谷海杜*(新潟大・院), 奈良間千之(新潟大), 瀧ヶ崎愛理(エアロトヨタ)	杓子岳北カールにおける山岳永久凍土の分布可能性	☆
P-09	岩田修二*(都立大・名誉), 佐藤剛(東京都市大)	白馬岳高山帯の地形形成環境を示すジオラマ	